

<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発言者</b>	<b>発言の内容</b>
会長	<p>■ <b>開会</b></p> <p>本日は年度末のお忙しいところをお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から「第6回西京区・洛西地区の新たな活性化懇談会」を開催いたします。</p> <p>はじめに、委員の交代が行われましたのでご紹介いたします。森委員に代わりまして、新たに高島屋洛西店店長に就任されました小山様に委員にご就任いただきます。</p> <p>一言ご挨拶をお願いします。</p>
委員	<p>森の後任の高島屋洛西店の小山と申します。微力ながら頑張りたいと思えます。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>なお、本日は、入木田委員、高田委員、村下委員、及び古瀬委員は所用のため欠席との連絡を受けております。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思います。</p>
会長	<p>■ <b>議事</b></p> <p>本日は、議題1として第5回懇談会で議論いただきました活性化ビジョンの柱立て(案)について、前回の議論を踏まえた修正案を事務局で作成していただいておりますので、これについてさらに議論を深めたいと思います。</p> <p>続いて、議題2として、これまでの議論の内容や経過等を市長に報告するための中間報告について議論する予定です。</p> <p>それでは、議題1について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>1 活性化ビジョンの柱立て(案)についての意見交換</b></p> <p>それでは、事務局より議題1についてご説明いたします。</p> <p>(資料1, 2について説明)</p> <p>本日欠席されている2名の委員からは事前に意見を頂いていますので、紹介させていただきます。</p> <p>◆ <b>委員の意見 1</b></p> <p>お1人目の委員からは3点の意見がありました。</p> <p>1点目は「タイトルをもっとすっきりしたものにして、誰にでも分かりやすいものにした方が良いのではないか。キャッチフレーズにして印象に残るよう</p>

な工夫もできるのではないか」というご意見で、①つながりを育てる、②仕事を育てる、③暮らしを育てるなどの例示を頂いています。

2点目は、施策の方向性について「柱立てとしてはこのまとまりで良いのではないかと。ただ、施策の方向性の中には重複しているものも見られるので整理した方が良いでしょう」として「コミュニティビジネスが2番目の柱立てにも3番目の柱立てにも入っているので、2番目の仕事の柱立てにまとめてはどうか」「3番目のライフスタイルの柱立ての『子ども・若者と高齢者やママ同士が交流し支えあう仕組みと居場所づくり』も1番目のつながりの柱立てに入れても良いのではないかと」という意見を頂いています。

3点目は西京区らしさについてです。「今後、ビジョンをまとめていくに当たり、西京区らしさを出していくには、多様な地域が集まっていることが個性であることを意識してとりまとめることが必要ではないかと。それぞれの地域課題や特徴が言葉として出てくると、自然と西京区らしいビジョンになるのではないかと」というご意見を頂いています。

#### ◆ 委員の意見2

もうお1人の委員からは4点の意見を頂いています。

1点目が西京区のビジョンだと分かるキーワードを入れたいということで、「西京区でなくても、どこのまちでも通じるような柱立てでは残念である。どのまちでも必要とされる普遍的な要素は大切だが、西京区の特徴を著述するキーワードが不可欠ではないかと。例えば、西の玄関口とか西の観光拠点等」という意見を頂いています。

2点目は「具体的なアクションにつなげるために、いつ頃までに何をするのか。普遍的なビジョンを目指しているのか、10年後のビジョンなのかということを知るようにした方が良いでしょう」として『10年後のライフスタイル』とか『区制50周年西京区を変える』等と書かれると良いのではないかと」という意見です。

3点目は「まちのイメージ発信には強いメッセージ性がほしい。新しいまちの形が見えるように『子育て世代に選ばれるまち』『ソーシャルビジネスのまち』『健康長寿のまち』等のメッセージでまちのイメージを引っ張りながら普遍的な項目へ広げていくビジョンにしていくと良いのではないかと」という意見です。

4点目は今後の展開について「芸大跡地の活性化策については、意見集約ができるので、これからは西京区の要素の強いキーワードを抽出して、それを基に地域がわくわくするような協働活動に入ってはどうか。クリエイターが社会的要素やビジネス要素、地域一帯のランドデザイン等、複数案を創出して地

<p>会長</p>	<p>域で検討する、これを繰り返す協働作業が必要」という意見を頂いています。</p> <p>ただ今、事務局から説明いただいた柱立て(案)は、前回の議論を踏まえて修正を加えていますが、その後、時間も経過していますので、新たに感じられたことを、今ご報告いただいた委員の意見等も参考にしながらご発言いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>柱立ての中身としてはまとまってきたと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>◆ キーワードと方向性について</p> <p>両委員とも「どこのまちでも同じようなものではなく、西京区らしいものを」と言われていますが、改めてこれまで「西京区らしいとはどういうことなのか」と考える機会がなかったなので、この懇談会はそういうことを持ち帰って考えられる良い機会だったと思っています。</p> <p>わくわくするようなキーワードが必要だということが、共通したご意見のようです。</p>
<p>委員</p>	<p>両委員の言われることはよく分かります。キーワードが必要だと思いますが、それについては区制40周年のキャッチコピーがすでにあります。あれは少し長いですが、西京区全体を見据えたようなキャッチコピーになっているので、それに沿った形のものを持ってきてはどうでしょうか。せっかく区制40周年で作られたものなので、これから先も活性化するために継続して持つていくような形の方が良いのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ご指摘のとおり、区制40周年のキャッチコピーがあります。私も決めておきながら、すぐに出てきませんでした。今のお話の通りだと思います。大事なことは、今回のキャッチコピーが形を1つ変えながら区制50周年にはもっと変わるということではないかと思います。そのためには、今の段階での活性化委員会は非常に大事だと思います。そうしなければ、いつまでも活性化しません。キャッチコピーはすぐに分かりますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>『未来に向かって輝け住みよい西京区!』です。</p>
<p>会長</p>	<p>いかに皆が住みよいという意識づけをするかということが大事であり、「輝け」が1つのキーワードになって、50周年に向かって大きく変わっていくということです。「住みよい」という言葉も安全・安心などをすべて含んでいると</p>

委員	<p>思います。いきいきとしたまちにならなければならないというのが「輝け」という意味だと思います。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p> <p>欠席委員のご意見にあった3つのビジョンの考え方は良いと思います。4つを3つにまとめることによってフレーズが長くなると目に止まらなくなってしまいうので、「つながりを育てる」というような言葉で分かりやすい方が皆の意思統一が図りやすいと思います。</p> <p>また、区制40周年の話もあり、洛西口駅～桂駅の高架下の活性化についても今後協議されると思いますが、そういうものこの活性化懇談会の方向性が整合していなければ困るので、西京区を1つの方向に向けるための共通したベクトルが必要ではないかと思います。</p>
会長	<p>基本的に、この活性化懇談会で議論していただいている内容が1つの大きな流れになるのは事実だと思います。これと違った形でできるわけではありません。そういうものを踏まえた中で「あの地域で何ができるのか」という問題もあります。</p> <p>ただ、その周辺に住まれている方々との整合性も大事なので、極端に変わったこともできません。しかし、やはり官民一緒になって取り組もうという流れが出ているせっきくのチャンスですので、何とか活かしたいと思っています。</p> <p>その一方で、あまりにも時間が少ないので心配しています。</p>
委員	<p>方向性がバラバラにならないよう、外から見たときに統一性がある方が良いと思います。</p>
会長	<p>短期間で行うので大変ですが。</p> <p>他はいかがですか。</p>
委員	<p><b>◆ コミュニティビジネスの項目の整理について</b></p> <p>コミュニティビジネスの項目が重複する等、整理し切れていない項目が具体的にあれば、その議論をした方が良いと思いますが、他にもあれば事務局に挙げていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>柱立て②のP4の破線枠の取組例にコミュニティビジネスが書かれていることと、柱立て③のP6の破線枠の取組例の1つにもコミュニティビジネスが入っ</p>

委員	<p>ていて重複しているのです、これを柱立て②にまとめてはどうかというのが欠席委員のご意見です。</p> <p>P6の取組例の「高齢者への買い物支援や子育て家庭への育児支援～」のところでコミュニティビジネスという言葉を使っているのは、高齢者や子育て家庭が主語ではなくて、そういう支援のできる専門的な知識を持った住民が潜在的におられるので、そういう方々に働く場や機会を提供するという意味で、買い物支援や育児支援を入れているので、高齢者に対する活動＝コミュニティビジネスではなく、ボランティアとしての活動があっても良いわけです。</p> <p>そういう意味では、地域の中でもっと動ける方や一時的に引退されている方々を発掘するという意味でのコミュニティビジネスですので、そう分かるように、特にP6の方は表現した方が良いと思います。</p>
会長	<p>社協も方向性が変わってきて、西京区も各場所でちょっとしたお助けをしてくれるボランティアが多いので、それをもう少し大きくした「お助け隊」という形が考えられています。ただ、やはり受益者負担的な部分が必要になります。何でもタダでもらえるような無茶はできませんので、低額で「お助け隊」に助けてもらうという仕組みを考えています。ただ、それはビジネスとは少し違います。それで採算が合うわけではないし、誰かにお金を出してもらえなくてもありません。この部分はそういう形のものだと思います。それによって誰もが住みやすいまちをつくらうということであり、お助けするからビジネスになるということではないと思います。</p> <p>整理するのは、確かに②の方がベストだと思います。チョイスしてお願いできるというのは仕事としての部分だと思います。</p>
委員	<p>どこでやるかに依ると思います。例えば「ラクセーヌ商店会」で、商店会が元気になって購買者が増えるようにと週1回行われている取組は、今は西京区の補助金に依存していますが、商店会からお金を出して、地域の人材を活用しながら、手段としてあくまで子どもを一時的に預かる形にしているだけなので、そういうものと本来的に居場所を提供しなければならないという話とは見分けがつくようになっていけば良いと思います。</p> <p>ですから、自治会館の方で、ボランティア活動で多くの方が高齢者の居場所づくりの活動をされていますが、あれはコミュニティビジネスではなくて、活動です。ただ、高齢者のお宅に行って電球を替えてあげたり、掃除をしてあげたりする場合は有償で行うようになっています。</p>

<p>会長</p>	<p>それは意味が違います。ただ、居場所をつくらなければならないのも事実だと思いますし、それも高齢者だけの居場所ではなく、子どもも若い人もすべての層にわたって必要になると思います。つまり、横のつながりがなくなってきたのみに、そういう部分が必要だということです。</p>
<p>委員</p>	<p><b>◆ 西京区らしい柱立てを考える</b></p> <p>先ほど言われていましたが、タイトルは重要だと思います。上手くまとめられて3つのビジョンが出ていますが、やはり一般的であり、西京区らしさが入っていません。中を読むと西京区のビジョンだと分かりますが、これだけを見て西京区のビジョンだと分かることが必要だと思うので、タイトルで何をしたいのか、何を狙っているのかが分かるようなサブタイトルを入れるのも1つの案ではないかと思います。</p> <p>例えば、実施計画に近い形になりますが、「誰が」という一人称が入っていないので、「みんなでこうしよう」「みんなでこういうものを目指そう」というようなサブタイトルを入れても良いのではないかと、先ほどの意見を聞いて思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>他の委員はいかがですか。</p>
<p>委員</p>	<p>活性化のビジョンの柱立てとして、この3本の整理は重要なところをきちんと押さえていると思います。ただ、他の委員も言われているように、西京区らしさをどう出していくのかという点は本当に重要だと思います。ただ、どうすれば西京区らしくなるのか、どう考えれば良いのかというのが問題です。</p> <p>私は京都の産業施策や立地などに関わる仕事をしていますが、京都市は『日本に、京都があってよかった』というキャッチフレーズを打ち出していますので、それに倣って『京都に西京があってよかった』というくらい強い意気込みを出して、西京区の良さを掘り起こしていくというプロセスを展開していくことが、サブタイトルや分かりやすいキャッチフレーズという部分に貢献するのではないかと思います。</p> <p>結果としては非常に分かりやすくなっていますが、そのプロセスには多くの人の知恵があったと思うので、それを取りまとめていくという作業になるのか、あるいは、全部を受け入れることが困難であれば何に集中していく、選択と集中の段階に入るのではないかと思います。</p>

会長	<p>西京区は自然も多いし、他の区にないものが数多くあります。自然だけなら右京区や周りにもありますが、やはり少し違うと思います。</p>
委員	<p>他所との違いとして、西京は生活圏と自然が近いという印象があります。</p>
委員	<p>欠席委員が意見として言われていたように、今は「誰が・何を・いつまでに」という時間軸が見えづらいと思います。買い物支援などは我々も依頼を受けたことがあります。まだそれほど大きくなっていませんし、ボランティアで済む部分とビジネスで行わなければならない部分があると思いますので、そういう中で個別に時間軸をもう少し明確にした方が良いと思います。</p>
会長	<p>基本的にこの2年間で、西京区民の思いを中間報告として出していく段階ですが、時間軸もまとめながら、次の1年間は非常に大事になると思いますので、そこで1つのものを求めて、またその後につなげていきたいと考えています。</p>
委員	<p>物事は3つが大事で、人間は3つまでは覚えられると言いますし、3つの柱はバランスがとても良いと思います。そして、「つながり」「仕事」「暮らし」は「西京区で何かしたい」「西京区をなんとかしたい」と考える時に「つながりを考える」「仕事を考える」「暮らしを考える」というように、施策の中で具体的に考えられる柱立てになると思います。したがって、「一番何をしたいのか」がトップに上がっていて、それから「つながりはどうなのか」「仕事はどうなのか」「暮らしはどうなのか」というように見ることができて分かりやすいと思います。</p> <p>もう1つは「育てる」が共通していると思います。西京区らしさを出そうとして具体的にモノを出しても西京区とつながるのかどうか分からないので、結局は「西京区」という地名を出すしかないのかもしれませんが、一人称と言われたので「西京区で育てたい」というタイトルにすると「つながりを育てる」「仕事を育てる」というようにつながるのではないかと思います。</p> <p>例えば、先ほどの重複の話で、P6に書かれているコミュニティビジネスは「西京区ならではのライフスタイルの一つとしてコミュニティビジネスを展開」というよりも、ライフスタイルを実現するために何をするのかという考え方から出てきたと思うので、ビジネス自体は仕事の中に入っていると思いますが、「西京区ならではのライフスタイルを実現するためにどのようなことをやっていくか」という捉え方にした方が良いと思います。</p>

	<p>もう1つ気になったのが、前回の懇談会で出ていた「健康」というキーワードが今回出ていないということです。大原野の野菜は健康につながると思いますので、そのキーワードはあった方が良くと思います。また、前回の懇談会を終えてから言われたのが「スポーツ」という言葉が出てこないということです。体づくり、健康づくりも欠けているように思います。</p> <p>すべてを網羅しなければならないということではありませんが、「つながりを考える」「仕事を考える」「暮らしを考える」というところに下りてくると具体的に何をしたいのかというところで、皆さんから「やりたいこと」が取組のアイデアとして出てくるのではないかと思います。</p>
会長	<p>西京区らしいライフスタイルを実現するにはビジネス以外にもいろいろな手法があると思うので、それをどう考えていくかということだと思います。</p>
委員	<p>今やることが見えていたら良いと思います。</p>
会長	<p>長寿社会だけではなくて、健康で長生きしていただくことが大事ですので、そのためには誰もが住みやすいまちをつくらなければならないということだと思います。</p>
委員	<p>このビジョンは区民の皆さんに率先して取り組んでいただかなければならないので、理解していただくためにもインパクトのあるキャッチフレーズがあった方が良くと思います。</p>
会長	<p>確かに、あれもこれも入れたい気持ちはあります。今は「あれも言いたい」「これも言いたい」という状態だと思いますが、インパクトが弱くなります。</p>
委員	<p><b>◆ 西京区の魅力の発信について</b></p> <p>子育て世帯にとっては安心安全で学校が近いことが重要ですし、共働き世帯にとっては、遅くまで営業している店が少ないので、コンビニが少しあるくらいでイオンモールも遠いという買い物環境が問題です。高齢者の方々も病院があっても不便なところがあります。したがって、そういう方々に住んでいただくためには、すぐに病院に行けるように地域を回るコミュニティバス等をアピールできると、高齢者も子育て世帯も住みたいと魅力を感じていただけるのではないかと思います。</p> <p>中京区・下京区の方々には西京区に対するイメージはあまりないと思います</p>

<p>会長</p>	<p>ので、今後はそういう部分でもっとアピールできるような形をとっていかなければ、西京区に住むことを希望して転入される方の増加は厳しいのではないかと思います。私は西京区で育ってきたので、不便な時代から今はかなり便利になったと思いますが、「もっと便利にしてほしい」と思っている方もおられると思いますので、そういう点が今後の課題ではないかと思います。</p> <p>PRは本当に大事だと思いますが、ただ情報誌を作って終りでなく、それを使ってもらえるように、何らかの形でアクションを起こさなければなりません。できたものを渡すだけで見てもらえるわけではありません。そこには工夫が必要です。それが今までは不足していたのではないのでしょうか。今までも情報誌はあったと思いますが、それを上手に活用できなかったのではないかと思います。その点も十分に考えなければなりません。</p> <p>確かに、交通網も少しずつ良くなっていて、バス路線も少しずつ変わろうとしています。バスでどこにでも行けるかという難しい部分もあります。大量輸送をしなければならない時はバスでは限界がありますし、本数を増やせば良いかという、それだけの問題でもないと思います。やはりそういう部分も含んだ中で、産業にも仕事にもつながるような路線が必要になるのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>◆ <b>区制40周年のキャッチフレーズ</b></p> <p>改めて、区制40周年のキャッチフレーズをご報告しておきますと、『未来に向かって輝け 住みよい西京区』となっています。長いですが、皆さんのいろいろな思いが出ています。他にもたくさん案があり、「自然」が入った案もありましたが、自然だけではなく、これから未来に向かっていくものがなければ意味がないのではないかと考えて、「未来に向かって輝け」「住みよい」というところにポイント置いています。これを50周年に向けてまちづくりに活かしていきたいと思っています。よろしくお願いします。</p> <p>いろいろな形で皆さんからご意見を頂き、欠席委員のご意見にあったように、タイトルをもっと簡潔にした方が良いという課題もあるかと思いますが、2年間でここまでまとまってきましたので、これで中間報告をしたいと思います。それによって西京区をもっと知ってもらうことも大事だと思っています。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>◆ <b>人をつなげる機会や場をつくるという考え方</b></p> <p>柱立て①の人がつながるという話と、②の仕事が生まれるという話で、先ほ</p>

どのコミュニティビジネスに関連しますが、②の中で「ビジネス」という言葉が先行し過ぎていることが気になります。洛西地域で活動している立場から、今起きていることを紹介しますと、①で書かれていることは地域の中で人々がつながる、あるいは活動団体同士がつながる、自治会同士がつながるといような話だと思いますが、②の方で「仕事が生まれるまち」と書かれているこの「仕事」については、新しい企業や事業者を西京区に誘致して、新しい雇用をつくり出すことよりも、これまで西京区を拠点として活動している事業者、あるいは企業の方々が住民とつながって、これまでになかった新しいサービスや魅力を提供することの方が大事だと思います。

例えば、①の【現状・課題】の4番目に書かれている「桂ヴィレッジフェス」は、地域の方が中心となって作り上げたところがありますが、桂駅界隈の店や店主とあまりつながりのなかった地域の方々が、地域にある商店等の魅力を自ら発信したり、交流会を開いたりして、店主と地域の方がつながって取り組まれていることに意味があると思っています。

一方で「らくさいマルシェ」はまだ動き始めたばかりですが、今まで洛西ニュータウンの中で事業者同士が連携して何かをすることがなかった中で、事業者同士が連携してできたのが「らくさいマルシェ」です。しかし、まだ事業者が連携して動いているだけなので、事業者と地域住民をいかにつなげながらマルシェをつくるかということが次の課題となっています。

②の「仕事が生まれるまち」もビジネスをつくらなければならないというよりも、地域住民と事業者や企業の接点や、新しい価値を生み出すことを議論する場など、住民と事業者をつなぐ場をつくることを本来の目的として分かりやすく書かれた方が良いと思います。

P4の破線枠の取組例の中に「～人材や学術機関、企業、農業などがつながりコラボレーションする」と書かれていますが、実はこの点が一番大事で、それがなければビジネスは生まれようがありません。「NPO法人らくさいライフスタイル」も基本的には地域の人材を活用して事業者と結び付けて新しいビジネスを起こしているのです、そもそもビジネスのアウトプットよりもつながる場をつくっていくということになります。

したがって、①は住民同士のつながり、②は住民と事業者同士のつながりという話で整理すると分かりやすいのではないかと思います。タイトルはこのままでも良いと思いますし、欠席委員が言われるように圧縮しただけでも良いと思いますが、書かれる内容としてはあまりビジネス押しにするよりも、価値観が違う、あるいは行動様式が違う人たちの接する場をつくることをもう少し②の中に埋め込んでおいた方が良いのではないかと思います。

<p>会長</p>	<p>「桂ヴィレッジフェス」は今回が第1回目で、先日、代表と話をしましたが、これは祭りの原点であり、西京の人たちがこういう形で集まる機会があることで、年に1回でも皆が故郷を思って帰って来てくれることが目的だと言われていました。それが「桂ヴィレッジフェス」の発想です。皆に知ってもらうことも有難いのですが、そういう集まりによって皆に故郷を感じてもらいたいということです。現在も西京区内で他に祭りをしているところはありませんが、そういう祭りには他所に出ていた人々が帰って来ていることも事実です。そういうものをいろいろな形でつくり上げていく部分もあると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私が聞いていた事例とは違うかもしれませんが、地域住民がそういうことをするために商店主に出店等の協力要請をするイベントはたくさんあります。しかし、私が聞いたもう1つの側面では、地域住民と商店主が一体的に長い間議論をしながらつくり上げてきたところに意味があるのではないかと思います。今まで、事業者と地域住民の間には一時的な協力関係しかなかったのですが、それが相互の利益が見える状態で、膝を突き合わせながら戦略を練って新しいビジネスをつくっていくということが、西京区では少しずつ起こり始めています。他の区ではあまりそのようなことが活発に起こっているようには見えないので、その点に注目できたら良いと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>大企業を入れることとは違った形で、その地域でしかできないことを広げていく方が大事だと思います。大企業は採算が合わなくなれば撤退してしまいます。そういうことになったら大変です。ビジネスだけのイメージではないということです。</p>
<p>委員</p>	<p><b>◆ 働き方と暮らし方の西京区モデルづくり</b></p> <p>私は中京区の仕事をしていましたが、中京区の街なかの暮らし方と西京の郊外型の暮らし方とは違います。中京区は町家などがあって他都市からも「京都らしい暮らし方」を求めて来られたり、御所南学区にはマンションが建ち並んだりしています。その中では地域の活動をされている方もいれば、されていない方もいますが、そういう街なかの暮らし方と、郊外型の自然もあるライフスタイルのモデルとしての西京区での暮らし方とは違います。</p> <p>暮らしのために働くことを考えると働く先も必要です。通勤するのは構いませんが、西京区にいて自分の才能も活かした小商売のような仕事のニーズもあり、特に若い母親たちは元気で、いろいろなことをしようとしている部分もあ</p>

<p>会長</p>	<p>ります。例えば、35歳で子どもを産んで仕事を辞めざるを得なかったという方等、能力の高い方が数多くおられるので、そういう方々の働き方と暮らし方のモデルを西京区でつくれると良いと思います。中京区でもマンションに住まれている大企業を辞められた母親たちがいろいろなことをしているモデルはあると思いますが、その西京区版のような形で、選べるような感じになると良いと思っています。</p> <p>活性化懇談会以前から住民が集まっていろいろな話をする中で、一番のポイントは「寝るために帰るだけのまちになってはダメだ」ということでした。起きたら仕事場に行くだけのまちではダメになってしまうと考えていましたが、段々とそのパターンに陥っていたので、そこから変化して、産業も生み出さなければならぬという部分は大きいのではないかと思います。</p> <p>せっかく周りに良いものがありながら、忘れられているかもしれないので、そこを活性化させなければならぬという思いもありました。外に出なくても西京区の中にもあることを分かってもらいたいし、良い形でできるまちだと思っています。そこが一番大きなポイントだと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>◆ 「やりたいことを実現できるまち」を目指して</p> <p>「ふらっと・西京」に参加して情報を集めるのですが、「こういうことをしたい」というアイデアを持っている方がたくさんおられます。ただ、それを形にするのが一番難しいので、やりたいことを実現できる西京区にしていくことが大事だと思います。それをどのようにサポートすれば実現できるのか、そのアイデアを大事にしていくことが欠席委員も言われていたことではないかと思っています。</p> <p>先日も、西京区にある会社や工場を見学できるツアーを行いたいという意見が出ていました。大人も子どもも見学できる機会があれば、自分が働くイメージが持てるし、西京区の産業を知ることができます。しかし、簡単そうにも感じるけれど、どうすれば実現できるのかというところが課題になっています。</p>
<p>会長</p>	<p>実は私も同様のことを考えていて、西京区の観光を考えると、小さくても良いので見学できるものを掘り起こしていくことも大事ではないかと思っています。歴史的なものを観るのだけが観光ではないし、環境面でもいろいろと取り組んでいる中小企業がたくさんあるので、そういうところを見学するのも1つの方法です。「こういう仕事もあるのか」「こういう生き方もあるのか」ということを知ることも大事だと思います。</p>

委員	<p>子育てしながら働きたいと思っている女性が、アイデアはあるけれどもどうすれば実現できるかと考えている中で「やりたいことが実現できるまち」ができると良いのではないのでしょうか。そういう意味でも「育てる」という言葉はすごく良いと思います。それを実現するために子育てのサポートや高齢者のサポートがあると思います。</p>
会長	<p>作ってもらったからできるわけではないので、自分たちで育てていく部分も必要ですし、官民一緒になって育てていくことが重要だと思います。</p>
委員	<p>◆ いろいろなものを「育てる」まちへ</p> <p>右京区の場合は、右京まつりの企画に中学生が加わっています。それが毎年次の学年に引き継がれて3～4年になりますが、それによって子どもたちが「これは自分たちの故郷の祭りだ」と思えるようにすることも狙いであり、故郷意識を根付かせる仕掛けも必要だと思っています。</p> <p>特に今年は区制40周年であれば、中高生が関わる演出をするのも1つの方法だと思います。それによって、彼らの中に「40周年のときに僕たちは関わった」という思いが生まれれば、西京区に対する思いや祭りに対する思いが出てくると思うので、そういう取組もしてもらえると良いと思います。</p>
委員	<p>一人称という言葉が出ましたが、「やりたい」と思っている人がいることが大事であり、それがなければ何も始まりません。「やりたい」という気持ちを育てるということです。それは祭りも同じですし、伝統行事でも継続させたいのに後継者がいないなどの問題を抱えた「やりたい」という部分もあると思います。そういうものがたくさん吸い上げられて、サポートもあると良いと思います。</p>
会長	<p>確かに、やりたいけれど障害があるという場合、その障害をどのように取り除いたらできるかという部分も重要であり、そうなる、何でも「育てる」ことが大事になるかと思っています。</p> <p>他にご意見はありませんか。できる限り、修正できるところは修正したいと思います。内容的に中間報告は形をつくっていくプロセスの1つと考えており、あらゆる角度で皆さんからご意見をいただいていますので、そういう面では非常に大事なことだと思っています。</p>

委員	<p>西京区社協の今年の宣言の中にも「育てる」という言葉が入っていました。福祉の面でも「育てる」ことがいかに大事かということ、皆さん方自身がそれぞれの立場において思っているということです。</p> <p>また、40周年ではありますが、京都市では西京区が一番若い区なので、若い区だからこそできるものをもっと盛り込んでも良いのではないかと思います。中京区や下京区、東山区では取り組めないことがあると思いますので、若い西京区だからこそ、40周年を機に50周年に向けてできることを皆でもっと考えても良いのではないのでしょうか。</p> <p>皆さんが言われているように「育てる」ということを今からきちんとした形で考えて、それぞれの立場で見据えたものを持ち寄ることも大切ではないかという気がします。</p>
委員	<p>会社を育てるといって「誰が育てるのか」という話になって難しいのですが、多様な環境の中で時間をかけてやっていくということだと思います。実は育て方というものがあるわけではなくて、それぞれ創業や、入居された企業の状況を見て活動をしているのが我々の姿であり、「桂ベンチャープラザ」も10年間活動をしていろいろな対応ができる仕組みがようやくでき始めたところなので、それを今後、西京区の発展に貢献できるような仕組みにしていかなければならないと感じているところです。</p>
委員	<p>私は人づくり委員もしていますが、そこの代表がよく一人称について言われていて「育てるのではなく、育つのだ」と言われています。「会社をどうやって育てるか」と言われましたが、サポートがあれば育つのではないかと思います。先ほど子どもの話がありましたが、子どもは動機がなければ何もしないので動機のきっかけづくりが必要だとしても、動機があってサポートがあれば育つと思うので、「育てる」というよりはサポートではないかと思います。</p>
会長	<p>いろいろなチャレンジをして、「やってみる」ということをいくつかやることで次につながるがあると思います。「らくさいマルシェ」もあのような形で行ったから次のことを考えられるわけであり、スタートがなければ誰も何もできません。今回の「桂ヴィレッジフェス」も転がしてくれるから「次はこんなこともできるのではないか」という話が出てくると思います。</p>
会長	<p>◆ <b>より多くの人に浸透する仕組みづくり</b></p> <p>せっかく大原野でいろいろな形のチャレンジをしてくれていますが、大原野</p>

	<p>だけで終わってしまうパターンではだめだと思います。西京区全体で取り組めるような広さにして、点から面にしていかなければなりません。せっかく良いことをするなら、それだけで終わらないように良い部分をチョイスした形で広げていくことが大事です。ただ、同じことができるわけではなく、場所ごとに多様性があるので、その場所に合ったものをどう創り上げるかということが大事だと思います。</p>
委員	<p>大原野だけと言われますが、大原野の住民でも知らない部分がたくさんあります。逆に無関心の人が目立ってきているので、そういう人たちをどのように巻き込むかが課題になっています。ここでこういうビジョンをつくっても知っている人だけが知っているという状態なので、いろいろな人たちに浸透させるような仕組みが必要だと思います。</p> <p>先ほど祭りの話をしましたが、学生を祭りの企画に関わらせるのは、学生が関与すると必ず保護者が来るからです。そういう形で来てくれる人を増やす仕組みも作らなければなりません。ビジョンをつくって全戸配布しても見ない人もいるので、いかに見てもらうか、どのように意識付けするかという仕組みは重要だと思います。</p>
会長	<p>やはり参加型にしなければならぬと思います。一気にではできませんが、徐々にそのような形にできれば良いと思いますし、その仕組みをどう作り上げるかということも大事なことです。</p>
委員	<p>40周年という機会があるので、いかにそれに乗せられるかが課題です。</p>
会長	<p>他にご意見はございませんか。（意見等、なし）</p> <p>まだまだよく見るとご意見もあろうかと思いますが、限られた時間の中ですのでご容赦いただきまして、次に、議題2の中間報告について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>2 中間報告について</b></p> <p>それでは、議題2の中間報告について説明いたします。資料3をご覧ください。（資料3について説明）</p>
会長	<p>事務局から説明がありました中間報告についてご意見はございますか。</p> <p>できましたら、私1人ではなく、お時間の都合がつくようでしたら、副代表</p>

委員	<p>の片山委員にも市長への報告に同席していただけると有難いと思います。</p> <p>年度始めで忙しいですが、時間が許せば同席したいと思います。</p>
会長	<p>よろしく申し上げます。市長のスケジュールも確認しなければなりません が、このような形で皆さんの思いを報告したいと思います。</p> <p>それでは、最後に事務局から、来年度の懇談会の流れについて報告していただきます。</p>
事務局	<p><b>3 その他</b></p> <p><b>◆ 来年度のスケジュールについて</b></p> <p>それでは、来年度のスケジュールについて説明いたします。資料4をご覧ください。</p> <p>(資料4を説明)</p>
会長	<p>その他、全体を通じてご意見等がございましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>(意見等、なし)</p> <p>特にご意見がないようでしたら、これで本日の議題はすべて終了しましたので「第6回西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会」を終了いたします。</p> <p>どうも、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>